

## 案件概要書

2011 年 10 月 18 日

国際協力機構東南アジア・大洋州部

東南アジア第 4 課

## 1. 案件名（国名）

国名：ラオス人民民主共和国

案件名：南部地域保健サービスネットワーク強化計画

(Project for Strengthening Health Service Network in Southern Provinces)

## 2. 事業の背景と必要性

## (1) 当該国における保健セクターの開発実績（現状）と課題

ラオスにおける妊産婦死亡率は 10 万件の出生に対し 405 件<sup>1</sup>、5 歳未満児死亡率は 1 千件の出生に対し 98 件<sup>2</sup>と高い水準にあり、特に妊産婦死亡率は MDGs 達成が困難とされている。MDG Goal4「5 歳未満児死亡率の削減」および MDG Goal5「妊産婦の健康の改善」の達成のためには依然として母子保健の改善が急務であり、特に新生児及び妊産婦の死亡率削減への取組みが重要である。保健医療サービスが届きにくい遠隔地も含めた家族計画サービス、妊産婦健診および出産介助サービスへのアクセスの改善が、これまで以上に必要となっている。

## (2) 当該国における保健セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

ラオス政府は MDGs 達成に向け、「第 6 次国家保健セクター開発計画」（2006-2010）及び「第 7 次国家保健セクター開発計画」（2011-2015）において母子保健を優先課題とし、保健センターを含む病院施設のネットワーク拡大・改善を重要事項としている。保健省は「母子保健統合サービスパッケージ戦略・計画 2009-2015」を策定、より包括的な母子保健事業を実施すべく、マネジメント強化による既存の資源を最大限に利用した効率的なサービス提供と拠点・必要資機材の拡大・整備、人材育成を課題として改善への取組みを記している。本事業は保健センターの新設および既存施設の改修、郡病院の母子保健診療設備の整備、僻地における保健センターの職員用住居・給水設備・電気設備の整備を行い、郡病院以下の施設について、住民により近い母子保健サービス提供体制（施設・設備）を整備するものである。対象地域は乳児死亡率（対全国比）が極めて高い数値を示し家族計画や妊産婦健診等母子保健サービス普及が遅れている南部 4 県であり、実施の必要性が高い。

## (3) 保健セクターに対する我が国の援助方針

「対ラオス国別援助計画」では同国の劣悪な保健医療状況に鑑み、MDGs 4 及び 5 の達成に向け母子保健が重点課題の一つとして位置付けられている。「対ラオス国事業展開計画」においても母子保健サービス改善を最重要課題としており、「JICA 母子保健改善プログラム」を策定中である。当該プログラムはラオス政府の「母子保健統合サービスパッケージ戦略・計画 2009-2015」の実施をソフトとハード両面の協力により包括的に支援するものである。ソフト面では、中央政策レベル（保健省）において事業調整・モニタリング強化を支援する「保健セクター事業調整能力強化 フェーズ 2」を、また地方レベル（南部 4 県）において、母子保健事業のマネジメントを強化する「母子保健統合サービス強化プロジェクト」を実施中である。さらに母子保健人材の育成強化を目指す「南部地域母子保健人材開発プロジェクト」を開始予定である。これらソフト支援に対するハード面の支援が本事業にあたり、各種医療関連施設の整備を行うものである。

## (4) 他の援助機関の対応

本件の対象の南部 4 県においては、世界銀行が遠隔地へのアウトリーチ活動を支援しているほか、

<sup>1</sup> WHO Statistics 2010 およびラオス国勢調査 2005。

<sup>2</sup> ラオス国勢調査 2005。WHO Statistics 2010 によれば 2008 年は 61（対 1,000 件出生）。

UNFPA が助産者育成、家族計画普及、UNICEF が予防接種・栄養教育、WHO がサラワン県で母子保健サービスを支援している。

### 3. 事業概要

#### (1) 事業の目的

本事業は、保健センターの新設 22 サイト、建替え 29 サイト、補修 4 サイト、スタッフ宿舍の建設 8 サイトの合計 63 サイト、及び郡病院の母子保健外来の建て替え・増築・補修の合計 5 サイトを整備し、ラオス南部 4 県の母子保健を普及させるための保健医療施設の環境改善及びアクセス改善を図る。(詳細サイト数等は協力準備調査にて検討。)

#### (2) プロジェクトサイト/対象地域名：チャンパサック県、セコン県、サラワン県、アタプー県

#### (3) 事業概要：土木工事、調達機器等の内容

【施設】保健センター、郡病院における母子保健外来、保健センター職員寮

【機材】給水システム、太陽光システム、医療機材、事務・診察用設備

#### (4) 事業実施体制

実施機関は、保健省ヘルスケア局ならびにチャンパサック県保健局、サラワン県保健局、セコン県保健局、アタプー県保健局である。実施能力・維持管理能力については、保健省及び県保健局のマネジメント能力や強いコミットメントが必要となるが、「保健セクター事業調整能力強化」及び南部 4 県にて展開している「母子保健統合サービス強化プロジェクト」により、対象となる保健省及び県保健局のマネジメント強化を図っている。

#### (5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

##### 1) 環境社会配慮

##### ① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2004 年 4 月制定）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断される。

##### 2) 貧困削減促進等：最貧困郡を含む県を対象とするため、貧困対策案件と判別される。

#### (6) 他スキーム、他ドナー等との連携：

技術協力プロジェクト 3 件（「保健セクター事業調整能力強化フェーズ 2」および「母子保健統合サービス強化プロジェクト」で中央レベル・県（および郡）レベルの事業管理・調整能力の強化と双方の連携強化、「母子保健人材開発プロジェクト」で人材育成の制度整備）との連携を想定する。

#### (7) その他特記事項：特になし。

### 4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

#### (1) 類似案件の評価結果

① 医療施設整備案件の一般的な教訓として、施設整備・機材供与によって施設で提供できるサービスと診療環境が改善され、それに伴い、施設を利用する外来患者数・入院患者数が増加するなどの効果が見られる。他方、整備した医療機材について、スペアパーツの入手が困難な物品が選定されることがあり、機材の選定にあたっては、現地でのスペアパーツの入手可能性や現地レベルにあった機材の選定を徹底すべきである。また、新規に建設する施設の場合、人員配置や事業予算の付与がなされるまでに時間がかかる場合があり、人員配置計画・事業予算計画について十分確認する必要がある。

② 対象地である南部地域は不発弾（以下、UXO）の汚染度が高く、過去に同地域で実施された類似案件<sup>3</sup>においても、着工後に新設対象地にて UXO が発掘された例があるため、事

<sup>3</sup> 教育分野のコミュニティ開発無償案件「チャンパサック県及びサバナケット県学校環境改善計画」（2010～2012 年）。対象県における小・中学校 91 校の施設整備を行うもの。

前の UX0 調査済み証の確認および安全性の確認が必須である。

(2) 本事業への教訓

- ① 協力準備調査において、供与機材については、スペアパーツの確保などの面で現地事情に即した機材の導入を検討し、病院・保健センターの自立発展性を確保する。
- ② 協力準備調査において、安全性および UX0 調査済み証について確認を行う。特に遠隔地は汚染度が高いため、留意が必要。

以 上

〔別添資料〕対象地域地図

ラオス国全国図

